琉球大学学術リポジトリ

URL

新聞:『東京日々新聞』

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2018-04-16
	キーワード (Ja): 全面広告
	「進歩の跡歴然たる臺灣の糖業界」 台灣製糖株式會社
	などの写真も掲載。青色鉛筆で線のひかれた箇所あり。
	資料形態:一面全部/大型 56cm×42cm
	キーワード (En):
	作成者: -
	メールアドレス:
	所属:

http://hdl.handle.net/20.500.12000/38308

矢内原忠雄文庫

史料名

昭和2年6月17日『東京日々新聞』全面広告進歩の跡歴然たる臺灣の糖業界

封筒番号

287

原文所所蔵者

琉球大学附属図書館

撮影年月日

平成 17年 11月 16日

撮影者

富士写真フイルム株式会社

備

矢内原忠雄文庫

封筒番号: 287

史料名	昭和2年6月17日『東京日々新聞』全面広告 進歩の跡歴然たる臺灣の糖業界
資料形態	一面全部/大型
枚 数	1
頁 数	1
縦 (cm)	56
横 (cm)	42
厚さ(cm)	
書誌的事項	台灣製糖株式會社などの写真も掲載。青色鉛筆で線のひかれた箇所あり。
	今泉分類記号: P

場下部にも地域がデーーのい… -- 127

とればなられ状態であったの 遥遥響の假道、その他の遺歩 の地として式なる聖みを願さ だ。されば結構が翻い難察路 最悪に独したところまことに れてあるのである。

日分の三は満代より投資であったの 関連を開送、本の種の選択、 関連を開送、本の種類を を開送している。 を開送している。 がの別によっての報報の課題 したのなった。 ならには したのなった。 ならには したのなった。 ならには したのなった。 なって、 をのなった。 なって、 をのなった。 なって、 をのなった。 なって、 をのなって、 をのなる。 にのが、 でを表する。 のではる。 でを表する。 のではる。 でを表する。 でを表する。 のではる。 でを表する。 でを表する。 のではる。 をでは、 をでいる。 では、 をでいる。 では、 をでいる。 をでいる。 をでは、 をでは、

I themas I thought would be the to the to the time the time the time to the ti

の部を誇たす、一般意式家は能と、解析社會は、国事製物の意識

続して水脈の観射温野沢と帯げて

點決式會就花頭游腦十年即其中

野牧場生活政党の光景

に楽してある。南朝は楊懐の式な「「初聞(一を眠我し原家経」と前衛衛告はり那所報告は「六七、九二九甲一二」郭の模擬となり称素「大正十五甲に至って機関的媒似財」ある等、十ペてにおいて松邦難素 | 勃集| を戦戦し際家部

に貢献するところ質に大なりと

製糖株式會が加はり数程金五百萬國とし

甜菜ベルアの祭職に亘り

…として約七千

本邦捷業界の嚆矢たる

大日本製糖株式會社 ◆…**鼻・記** たる故鏡木蘭三 ◆…その 内護代印館地が 大日花g離核球能型は日柱態紫の 萬六千八十四門で 読売財態を現場を関しつくある 棚が四萬五千百六十四門、営託五 本領大郎氏龍長たりし日本際階段 れ、同三十九年十一月に至り故路 めて東京小名木門通りに創設すら 郎氏によりて財活して制設すら 即氏によりて財活ニナ九年一月初 問氏によりて財活ニナ九年一月初 問氏によりて財活ニナ九年一月初 問所大七郎大門のよう。 部は野妖暦、龍麟、竹賦子、元間 四高大千四十二年である。 部所製 〇…大日本製链株式會

「人まで遺散の資が能感してゐる 特以成 は襲賊の意味はみなぎり、騒後の 離五鐵裁型の詫呼を得て四十二段 あるとは悪に美しきが対散で、所 →流野十二月前歌字大願下にて相 ・清麗の景 ・ きば高度。 のは開催が成長で、また
が成成がある。また
が高いには地が関係をはどこした
ない。 くく酸民と同誌とは共称。話じる 現一月には配指フャワにある所知改良の書籍は創むの一特徴と見る 糖焼減割割を供合し、また届十二部に成功したのである。また土地 抗正入場一月には低難にる觀點製

選せし大日本製態様式會証の台

期工場共任

和く電機し属七型に至り式工事記 開課式組合を設立し事意は解念の 確の完成を輝すべく大正三年五間 成を強くる報を得たりし態態に 館散として発展式に覆々所設を発 備し経々状帯職を読みつくあるも

現在資本金二十七百廿五萬圓、 跨达金二千六两二千五百以 現

られ間型大月台歌影響性の

の破職上場を戦器し間報間月より一十七百二十六年二〇である。現

甲にて台灣における宣布的記式第一 小林庭以前、江崎耐煙諸氏、坂門開鉄、路工宮以下入百八十八 ○塩金段券不胜道、電水批構、ると聞きねばならぬ、今や同世區 役下坂藤太郎○取締役赵方五年

債極的政策と

理想を管理した

帝國製造株式會社 部治療の対政地に挑戦国場を持一千五百萬国に指揮したのである。 明山下寮町、安部素兵衛、総方正 る衛尾繋離鉄技能制は に関節に し米付地の中心に 製館上類を付す

の転業を開始しば明十月資収金一をなった際緊緊衝射能減十入マイルと分(意像水形、

更に附款を決行して許本金三千 克則に増加し盆々事業の疑題を の影響を受け、同十二年八月発 に資本金一千八百萬間に城少十 るの止むなまに至り、まだ神戸 楽県間コマイル田分の線道道職

に 五百五十トンの 二丁期を鑑察す 十二月配代以離稅間十一種五分の協して配作に 六百五十トン、中間 第に ジェレッ ダー」を呼続し間報

領水以北の

大努力で立派に成功した

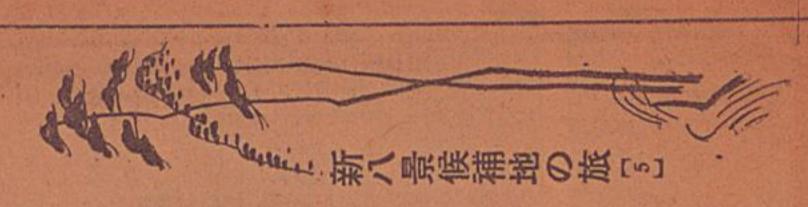
てるために大省線のみが表だ同等。今や意水以根糖素が癒の題を追称 来るものとの4思ってもた際民に

臨道智術階階の空間開発、音々遺版を設定されるのであり、その他規が、

の割目に留まり新しく留手を觸れさせられたのである。銀休所の竹一 の柱から新芽をよいたことは皇漢のいや策えます間北この上もなき 林となってゐる、この築えゆく竹林の様を見る者きく者、吾の御管

ntrol

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 1 1 4



日 び越云得られるやちだ。松澈澈し る。铅清水から引上げて來たビー 一酸酸點を送り毘迎へてから、ばや七 歳は癰・腮にも溺たず、とばゝと 預き来つて心解とみに清爽を觀と 醤、大久保の餅金銭しなどといふ十 喪ます~ せまり、最も難い の裡にをさめられ、鑑某劇感より 舟の上まで襲ひ来るとか。魚地線、月月 「開に著く。 一部、「一大祭祀を作り、水は御立って、「一大祭祀を作り、水は御立って、「一大祭祀を作り、水は御立って、「一大祭祀を作り、水は御立っ、「一大祭祀を作り、水は御立っ、「一大祭祀と立つ副代解下の鄭能 また贈に上ろに至らず、意識の試 が天龍に落合ふ感で、大龍脈から、大龍脈が早いため、この間の皆は 小器を開発とうと、大路に至って大路に置って大路の得という。ことは大路に立って大路の得という。 できまし、一郎のあらひもよし、た 実際開発を送り日辺へでから、 中代

上部から違い望むだけでもแ解を

舟は短間を幾曲りして既子の瀧に の桁供採は前の跳子の瀧に貳に敷

5年の吊躍、その前後に軍ら の状態は、毀戮ろしさが伊ふだけ このあたりで解析山麓の強々 一殿家が見と田下。時には道に沿っ

て舊をひさく深居を見た、船頭が一天龍井五里紅螺の中を「指示」 手を据って贈れけば、中から若い。ふぞへ糸のせて は、観み働く若春、水を懸けって路で配用とのは明年に旧百合の安全路となる。 おれ等の心理を留く額を記しまる。 一部で心理を留く解している。 一部に関しては、無に見る可能なり。 相のはしる程にはは、時に見る可能のより。 登る歌一里、早宿田村といふに待一部就御際既用する

酸眼を曖昧の風を譲襲したがら」と里を下っただけでも露に雨白か 間余の蔵を発歩と順で三時間栄をまで中里を下続して、鋭の室部を深にファ飛ばす。飛行ならば三時った。若し舟に行倒を閉派し巡州

育の小盤に繋、の時間、窓り迎へたらはおみやげの一なることを明 し形へて置から。(この項をはり)

供表謝乳は膨緩の緊張で四路をあってひ選乳三発及び馬四郎をきめるオリンピック大館へ時期する駅網」に候補着十谷に點し處後の緊溺を

黙十五氏に至り前の墜還と同一の

陸軍攻防演習 ※ ※ 本の中部土地野できます。 ままま は 間 現 間

聖以附下には来る九月中旬高十 観點にて行ほる〉関策

茨門

高語 を簡単既避ばさるととに御附ば 顧布三撃脈におは十数父宮殿下越き樹分の野である間観智には即日存傷は十一、二氏頭側地に や智妙神の弾らない

岱城戶吉田三氏に落つくものと見

は城戸俊三少佐と内定してよ 日勞農の政治 開營會校田

[シャトル十六日返](聯合) 早 独国三第7年メイスを全にい ど行ったが十一
對九で早大チー・ が慢節した、早大チームの物因は 入回目に早大側が盛の時中部川が E打を飛ばし一郎に三點を入れ一

して錦銭を長男され路米を注目 され昨年の非常米の琵琶に動み

確やしその他に新家を施し『印 琵琶を開始した 大阪(JOBK) [午後季時五 [午後七年十年] 華田〇七日 魔裟 森原正彦へ郡内『花井お梅梅雨女 」雖且情話。東京高土松佐賀尾○東 海道五十三次講談行脚(第十七日)

名古屋(よりひな) [午後等 なくや河南の撃すめる。大塚の やりわたしや伊那の谷、谷間の 「九時廿分」 (没花節「璽原を助 八日(土)十九日(日)所日とも午後 向は舎員外は特別一盟五十銭、 |O一時四十五分 婚人講座「歌米」 単そなつかしき(手事)川上速く」 娘、顧こはがる子は産まれ 「下」京山福造

め大日本語育協質に加入せしめた ので結構で新た「拳闘代表として ◇ 品徴原は「村徳! 単世徳|遺事文郎の二氏を明事」 なものを作り新技の智及簽選に至

【上海特電】(十六日後) 極東オ 組合せの抽頭を行び原田、大田附 ◇後でドクトルに税床を設け用 リンビック大會準備は支那側で著一選手の担手は各々ランドレー、、一たことが刺り『そんな那をする

技術球コート開き 恵士

●四九(は十五)―― ○五十(に十七)―― ●五一(ろ十六)

(は十七)地トル

〇五二(ほ十六)四分 ●五三(は十七)— ○五四(に十八)—

●田田(田十田)——○田大(八十七)—— ●田中(□十田)——

自日く)自四人で四九に引いて 「はノナ」に採いて打たらかと

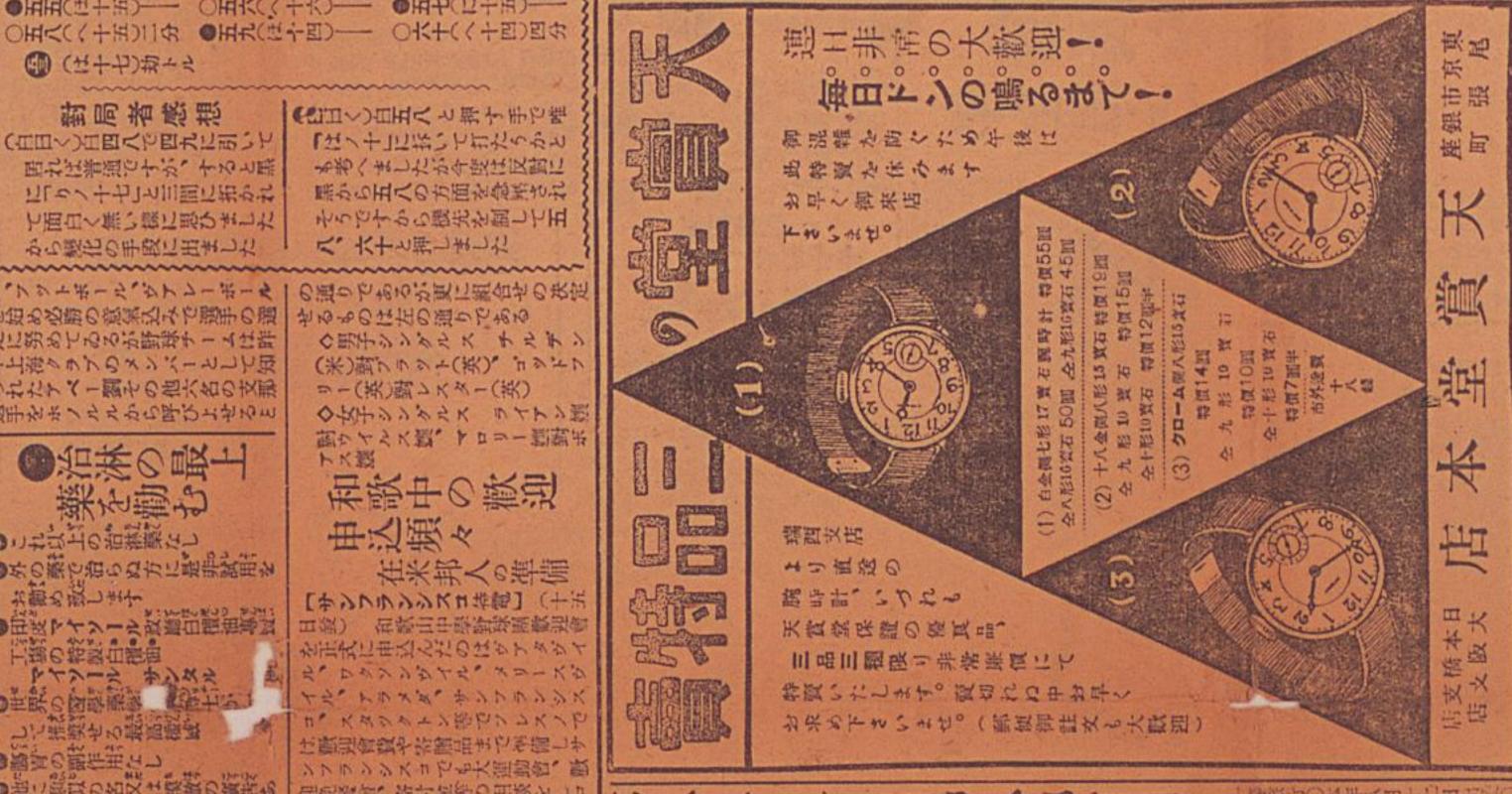
居れば普通ですが、すると 黒 も 考へましたが今 度は 反割に

に「りノナ七」と三間に拓かれ
黒から五八の方面を急所され

十七批金三個、五十姓第五國一揆の計畫でそれ~(明備中であ

いれる全英庭球選手概大官の劈一起對安静といよキッイお達と、 **昭や語を試合は英、関院間の物體一をさすりつく、グドに積につ** 時せられる緊張のアウゼム側の對一々それでも始めの中は選手の役 破に買いてハーグェー製数クリー | 神妙にして居たが、酸ひが白瀬 ドレーベン夫人の試合でかわらご一て来るや何時の間にか前に楽り 特に興味を惹かぬ如き觀を呈して一致中になって聲枝それでも足りず 一居る、フランスのスター選手池は一選手の腕をさするやら肩を揉ん |男々第ニラウンドに入るであらう| やるやら大に後陣抵りを領揮し **五分」落語『浦島』東京立川ゼん馬 | 々進行し 降意の バスケット ボーーンター 南選手に決定した事は既報 | 死んでしまひますョ」と叱られた。** 一本音く耳思くなったといふ

川部 商會



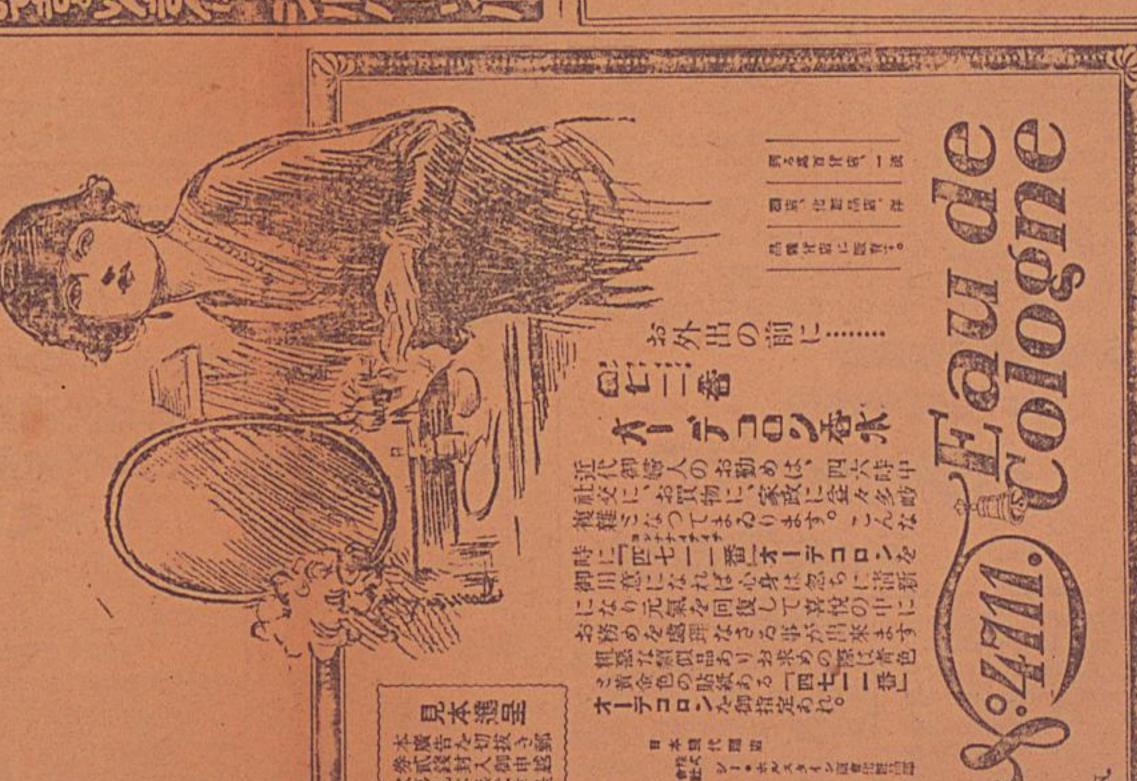


呼ばなる思考は、 聞金なる心乳から宝れる。 オキシ (ーラーは間張の間限を臨びし、解素の既以を默ら し、財活権間が職難して、よく仏教を顕確ならしむ 状器が麒麟以教士四联の賦、海の成権に至って が呼い銘~の罷城者を救ひ、階略を進め、仏教 こっながら離れなる。な意うしかは、策々既行



オキシへーラー奨励官 阿爾多國明 無語中 []]] [] [] [] | 報路 解放 |

我其如任武四川即館



大學見本無代演呈

| O九時 天梨家報 O九時四十五分 料理獻正·

十一〇砂珠十年 御花紫アダッオーケー 1 ストラー序曲「大學生の生活」(ト バニ組曲) CIロンドンデリーの歌 同寺居きぬ、尺八小河侯室 - 詞(オコンナーそりス作曲)のイタ |ヤロレート 作用)

| になける辞野」 報七瀬 O三時四十五分 天領懲殺 O大時(子供の時間) 査託「にせ金 は、天野焼ぎ O大時三十分 英語講座「句等科」 (1) 代) 辦曆區本田川經 〇七時十分 ニュース

の限に就いて」村田峰大郎

▶年田海寧莊「楓の花」豫田井海翼

圧症機のおくのはつ、この女 ▶ 地方開稿(一)水會區(二)伊那家 名古屋一りき、りき 【水部部】 〇大年の食母なく

は夏でも強い、着やりたや足が 際へて〇皓回かりにかられるー まい、穏枠仕立て、足袋形へ ○様は切いに関は色に、人は五 めよりたとことろ〇円達なら の木貸川の、流れくる水とめて などの流れ来る水とめても見と が、とめてとまらればの計り許り は十れども要は見へぬ、たれ

草葉のきりぎりす れしやんすな伊那節を〇お月よ

パッチリー早大中津川、淺倉、一既製の如く将来わが雄囲選手を関 伊丹華大デーヴィス、リンゼー一院オリンピック競技大會に決るた - 錦心流程 | の路上プロフェッショナルとアマ 匿の天才一チュアとを判然と原別し一隅とな

一時から日比谷公園背架室で先の一般五十銭であると

時は、さすが鬼の様な問部者の顔 ▼東西國軍野球職 東京對大阪商 野法政グラウンドで▼江東卓球士

溪草三百四四十 新 借 堂

四一リー民語用集(ランゲイ編曲)よう 「歌詞」(前頭)花の名残よ説 といと用て議に雲だきやる、わ一阵十分」フリュウト三龍奏サロッ 「去る四、五所日、園技館における一緒鉄職と内外選手の常路職とを練 館 十九日午前九時から第一半 山(合)宿々の淡緑(合)松吹風に しもだきたやお十七を○天龍く トリキ【七時五十分】講談「荒木一開東、閲再及び外人禁悶選手の大 九て第二次数技會を開催する参加 小単校で閉舎、會独卅銭▼文公 (合)さぼしる水のみこもりに。 がもれる、小唄きしたや顔見た一後方へ」東京副や流驚水雨宮路峰一決のまく保留した選手等が来る十一れる開東朗西の幹を集めてゆる。 したが更に潜転協會の扱助を得